

2013年6月5日

明海大学長 安井 利一

2013年度歯学部一般入学試験における出題ミスについて

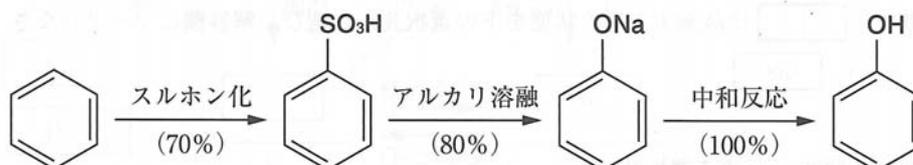
このたび、2013年1月31日（木）に実施した2013年度一般入学試験A日程の試験問題「化学」に出題ミスがあったことが判明いたしました。

受験生の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを深く反省しお詫びいたしますとともに、対応措置をお知らせいたします。

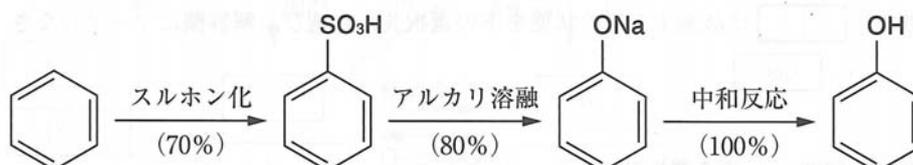
1 内容

全6問中5問目の設問に使用した化学用語の誤り

(誤) 下図はベンゼンを出発物質としたフェノールの合成経路を示している。スルホン化反応と中和反応の収率は、それぞれ70%と80%であった。なおフェノールの遊離反応の収率は100%であった。ベンゼン30gから得られたフェノールは($\boxed{a} \times 10 + \boxed{b}$)gであった。ただし、収率とは、反応式から計算した生成物の量に対する、実験で得られた生成物の量の割合をいう。



(正) 下図はベンゼンを出発物質としたフェノールの合成経路を示している。スルホン化反応とアルカリ溶融の収率は、それぞれ70%と80%であった。なおフェノールの遊離反応の収率は100%であった。ベンゼン30gから得られたフェノールは($\boxed{a} \times 10 + \boxed{b}$)gであった。ただし、収率とは、反応式から計算した生成物の量に対する、実験で得られた生成物の量の割合をいう。



2 対応措置

設問文と図が相違しており、困惑した受験生がいたと考えられることから、公平性を保つため、当該問題の解答をすべて正解として加点することとしました。

なお、これにより、選抜基準に基づく検証をした結果、合否の結果に変更はありませんでした。

【問合せ先】明海大学坂戸キャンパス入試事務室

TEL 049-279-2852